

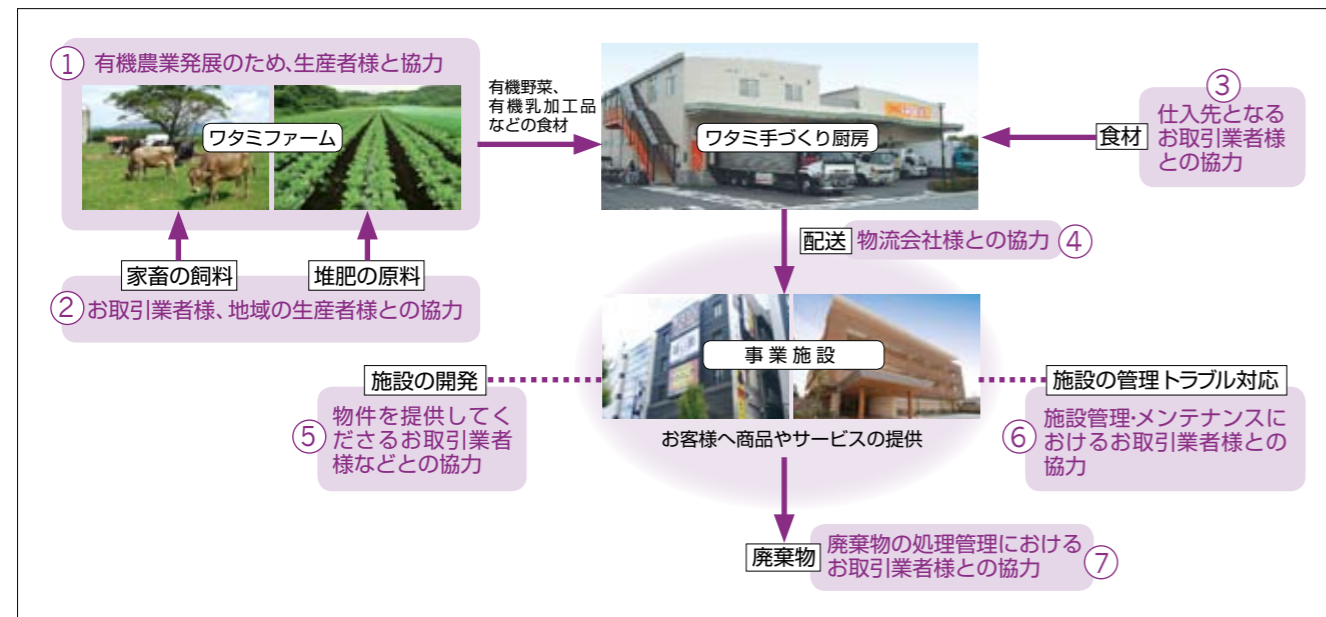
お取引業者様とともに

お取引業者様は、お客様へ安全・安心な商品の提供や、よりよい社会づくりを目指す「ともに成長できるパートナー」と考えています。

情報・状況を共有しながら共存共栄できる取り組みを行うことや、公平・公正な取引の徹底で、相互理解・信頼関係の強化・構築に努めています。



■お取引業者様との協力体制図



公平・公正な取引の徹底

ワタミグループは、公平・公正な取引を徹底することで、サプライチェーン全体を通して協力体制をつくり、お取引業者様との相互理解・信頼関係の強化・構築に努めています。

新規でお取引を開始する際は、稟議システムを活用し、必要事項を記入した帳票を関係部門と管理部門にて審議した上で、業務の遂行を行う体制をとっています。

生産における協力体制

①②

□有機農業の発展のための協力体制

ワタミファームは、少しでも多くの有機農産物をお客様にお届けするために有機農業のネットワーク拡大を目指しています。そのため、年に1回、生産者会議を開催し、土づくりや栽培技術などの事例や、各地域における有機農業推進のための取り組み内容を共有しています。

この会議の終了後には、参加者同士の交流を図ることを目的に、懇親会も実施しています。2011年度は、60名の生産者様に参加していただきました。

□堆肥・飼料の原料仕入れでの協力体制

ワタミファームは、「環境への配慮、資源の有効活用」をテーマとし、お取引業者様との協力体制を構築しています。

ワタミファーム瀬棚地区や弟子屈牧場では豆乳の製造時に発生するおからやビール粕、そして大豆生産の際に発生する規格外品を家畜の飼料として活用しています。また、各農場では地元から発生する食品残渣（茶殻・コーヒー粕・落花生粕など）や家畜の糞尿を堆肥化して圃場に投入しており、地元での循環型モデル構築を積極的に推進しています。

仕入・調達における協力体制

③

□仕入部門における公平・公正な取引

WTMDは、1996年に策定された「購買管理規定」に基づき、独自の基準を設定しています。新規お取引業者様を含め公平で公正なお取引を実現するために、継続的に使用されている食材などについては、随時、品質・価格の評価を行っています。

□安全・安心な食材を提供するための協力体制

WTMDは、お客様に安全に、安心してご利用いただけるよう、食材に関する法律を順守し、原材料の安全性を確認し、適切な品質管理のもとで製造（生産）された食材のみを使用しています。

仕入先（提携先）となるお取引業者様においては、ワタミグループの理念に共感していただけるサプライヤー（工場）であることを優先させていただいています。

また、定期的にお取引業者様を訪問し、以下の項目について確認を行っており、安全・安心のための対話を重視しています。

<確認項目>

- 細菌検査結果の確認
 - 生産地、生産者の確認
- 加工食品においては、以下の確認も行っています。
- 原材料別の生産地や生産者を確認
 - 製造工程表の確認
 - 製造工程における温度管理の確認
 - 製造工程における異物混入対策の確認

物流における協力体制

④

□WLIの推進

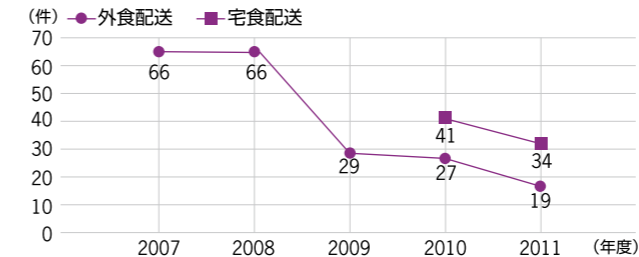
WTMDは、2007年度より、機会損失などの要因となりうる物流関連クレームを「重大な品質クレーム」と位置づけ、それを未然に防ぎ、低減させるべく、物流会社様とともに改善活動WLI: Watami Logistics Innovationを行っています。

その一環として、それぞれの物流会社様に業務改善テーマを設定していただき、毎月の「定例会議」で活動の進捗管理を行い、年2回開催される「全国物流会議」で改善結果を発表していただいています。活動結果を共有する場を設け、各社が切磋琢磨し合うことで、品質クレームを減少することができ、同時に物流会社様とWTMD双方の従業員の管理能力を向上させることができます。

2011年度の品質クレームは、外食店舗・介護施設への配送（外食配送）では19件、宅食営業拠点への配送（宅食配送）では34件となりました。また、半期品質クレーム0件を達成された企業様10社を表彰させていただきました。

2012年度は、外食配送18件以下、宅食配送33件以下を目標にしています。（事業拠点数拡大を考慮し、絶対数で前年度以下になるよう目標を設定しています。）

■品質クレーム発生件数推移



□定期監査の実施

WTMDは、2006年度より飲料配送、2010年度より食材配送における運行管理や安全運転、商品の取り扱い状態など、46項目において定期監査を行っています。

2011年度は10拠点において監査を実施しました。今後は、WLI・お取引業者様評価（※）に監査を統合していきます。

※お取引業者様評価
6つの評価項目（組織力・提案力・構築力・管理能力・改善力・思い）において、5段階評価で、それぞれお取引業者様を評価させていただきます。この評価結果と、その年度の品質クレーム件数・内容を踏まえ、次年度のお取引内容（業務範囲）を決定しています。

施設開発における協力体制

⑤

□WFSでの取り組み

WFSは、新規物件の建設にあたり「入札説明会」を実施、また年2回の施工者ミーティングにて情報を開示し、公正な取引の強化に努めています。物件を提供していただいているお取引業者様へは、定期的な訪問を行い、日頃の感謝をお伝えするとともに積極的な意見交換に努めています。

□ワタミの介護での取り組み

介護施設のオーナー様は、個人の方をはじめ、企業様まで幅広くいらっしゃいます。お取引業者様からのご紹介をいただき、ワタミグループおよびワタミの介護の企業理念を理解していただき、信頼関係を構築してはじめて、長期に亘る共同事業が成り立ちます。

そのための主な取り組みとして、オーナー様およびお取引業者様に、介護施設や、ワタミの介護が行っている各種イベントを実際にご見学いただいています。

施設管理における協力体制

⑥

□ビジネスパートナーシップ(BPS)を活用した施設管理

2012年4月、ワタミグループ外食店舗、介護施設における施設管理・メンテナンス業務が、ワタミエコロジーからワタミ（株）に移管されました。

ワタミ（株）は、外食店舗、介護施設でのトラブルなどに迅速に対応するため、お取引業者様と連携して施設管理・メンテナンスに取り組んでいます。お取引業者様とは「ビジネスパートナーシップ(BPS)」を構築し、ワタミグループのビジョンの共有や品質向上を目的とした「BPS会議」を開催しています。2012年8月末現在、関東・関西地方にて各1回ずつ開催し、106社のお取引業者様に参加していただきました。会議の終了後には、参加者どうしの交流を図ることを目的に懇親会も実施しました。

廃棄物管理における協力体制

⑦

□お取引業者様と協力した適切な廃棄物処理

ワタミエコロジーは、コンプライアンスのもと、適正価格かつ安全で安心な廃棄物処理管理が行われるよう、お取引業者様との強固な関係を構築し、廃棄物処理管理というサービスを確立しています。約300社のお取引業者様と積極的に連携するため、施設管理と同様、BPSを構築、BPS会議を開催しています。

2011年度は、地域別の会議、全国のお取引業者様を対象とした会議を、各2回ずつ開催し、約150社のお取引業者様に参加していただきました。

海外での取り組み

□ビジネスカンファレンスの開催

ワタミインターナショナルは、2011年度、ワタミインターナショナル幹部、各地域運営会社幹部、そしてフランチャイズオーナー様が一堂に集まり、今後の展開方針を確認すると同時に、関係者どうしの懇親を深める場として、ビジネスカンファレンスを開催しました。カンファレンスでは、ワタミグループおよび海外外食事業の2011年度の実績と2012年度の計画を報告していただき、フランチャイズオーナー様との意見交換も行いました。今後も、毎年1回開催する計画です。